

戸開走行保護装置
定期検査及び定期点検の項目・事項・方法・判定基準

大臣認定番号	ENNNUN-2187 ENNNUN-2462 ENNNUN-2188 ENNNUN-2463 ENNNUN-2289	UCMP 型式	DBNVM-1 型 DBNVM-1A 型 DBNVM-2 型 DBNVM-2A 型 DBNVM-3 型
--------	---	---------	---

発行：平成 30 年 6 月 25 日 Ver. 2

No.	検査項目	検査事項	検査方法	判定基準
(1)	制御盤型式	型式	目視により確認する。	通常制御盤の扉に取り付けられた銘板の型式が、大臣認定を受けたものと異なること。 21311ACF/21310ACW 型 (2187/2188) 21311ACF/21310ACT 型 (2187/2188/2289) 21311ACF/21310ACV 型 (2289)
(2)	安全制御プログラム	型式	安全制御プログラムの型式を確認する。 目視 GECB: JAA26807CEZ164 保守ツール: JAA31414LAA	基盤等に記載されたプログラム型式が、大臣認定を受けたものと異なること。 指定型式: JAA31414LAA 型番: JAA26807CEZ164
		電磁接触器の経年	稼働回数又は経年を確認する。	起動回数が S1, S2 300 万回、UDX 1,000 万回超えていること又は設置後 10 年を経過していること。
(3)	つま先保護板	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	・取付けが堅固でないこと。 ・著しい変形、破損、錆、腐食があること。
		長さ	かご床面からつま先保護板直線部までの長さを測定する。	制御盤「つま先保護板有効長さ (最小)」未満であること。(67.5cm 未満)
(4)	特定距離感知装置	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。
		動作確認	動作位置を確認する。	規定位置で動作しないこと。(±60mm 以内)
		劣化の状況	経年を確認する。	設置後 10 年を経過していること。
(5)	部品	規定部品の型式	目視により確認する。	規定部品の型式が適正なものでないこと。
(6)	巻上機	型式	目視により確認する。	型式が、大臣認定を受けたものと異なること。 型式・3.5T:20229AAA 型 / 5.2T:20220AAB 型 / 6.8T:20229AAC 型
		しゅう動面への油の付着の状況	目視により確認する。	しゅう動面に油が付着していること。
		油の流出状況	目視により確認する	シール部から油が流出していること。 排出口確認部にて油が見受けられること。
			フェルトを目視により確認する。	フェルトに油が付着していること。
(7)	ブレーキ	型式	目視により確認する。	規定部品の型式が適正なものでないこと。 型式: ENNNUN-2187/2188 (EC-5415SM-C-130) ENNNUN-2289 (EC-5421-C-112)
		制動力の状況	片側ブレーキによる無負荷上昇時のかご停止距離を測定し、前回の定期検査時からの変化量を確認する。	制御盤に取り付けられた銘板の物件毎に指定された速度からの停止距離が基準値を超えていること。又は停止距離の変化量が基準値の 15% を超えていること。 要是正: (今回測定値 > 基準値) 又は (基準値の 15% > 今回測定値 - 前回測定値)
		パッドの厚さの状況	厚さ治工具によりパッドの厚さを確認する。	ENNNUN-2187, 2188 要是正: 隙間が 3mm 以下であること (治工具 1 段目が入らないこと。) 要重点点検: 3.5mm 以下であること (治工具 1 段目が入るが 2 段目が入らないこと。) ENNNUN-2289 要是正: パッド溝深さが 0mm 以下であること。 (パッド溝が見られないこと。) 要重点点検: パッド溝深さが 0.5mm 以下であること。 (0.5mm のピアノ線が入らないこと。)

この印刷物に記載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
著作権所有：日本オーチス・エレベータ株式会社

戸開走行保護装置
定期検査及び定期点検の項目・事項・方法・判定基準

大臣認定番号	ENNNUN-2187 ENNNUN-2462 ENNNUN-2188 ENNNUN-2463 ENNNUN-2289	UCMP 型式	DBNVM-1 型 DBNVM-1A 型 DBNVM-2 型 DBNVM-2A 型 DBNVM-3 型
--------	---	---------	---

発行：平成 30 年 6 月 25 日 Ver. 2

(8)	ブレーキパッドの動作感知装置	作動の状況	ブレーキ開放時及び締結時の動作感知装置の接点信号を確認する。	ブレーキ開放時に接点が開でない、又は締結時に接点が開でないこと。
		寿命	稼働回数又は経年を確認する。	動作回数が 150 万回を超えていること又は設置後 5 年を経過していること。
(9)	かご戸スイッチ	スイッチ全閉位置からの距離	金尺等により測定する。	規定値を超えていること。 (横開き) ドア全閉 2 ～ 6.5 mm
(10)	乗場戸スイッチ	スイッチ全閉位置からの距離	金尺等により測定する。	規定値を超えていること。 (横開き) ドア全閉 2 ～ 7 mm
上記(1)～(9)の検査結果表で「要是正」又は「要重点点検」及び別記第一号 1(14)・3(3)・4(11)の検査結果で「要是正」又は「要重点点検」の判定がある場合は、別記第一号 2(9)「戸開走行保護装置」の検査結果を「要是正」又は「要重点点検」と判定する。				
制御盤ブレーキ停止距離規定値、油排出場所及びブレーキ銘板(左右)の写真を検査表に貼り付けること。				